

東日本大震災における宮城県石巻市災害復興支援第 23 陣の支援活動について

8 月 17 日から 26 日の 10 日間にわたり、災害復興支援石巻班第 23 陣として宮城県石巻市への支援活動を行ってまいりましたので報告いたします。

1, 第 23 陣派遣部隊の体制（合計 16 名）

- ・ 気仙沼市 5 名（徳島県 3 名、阿南市 2 名）
- ・ 石巻市 4 名（徳島県 2 名、吉野川市 2 名）
- ・ 女川町 3 名（徳島県 1 名、小松島市・三好市 各 1 名）
- ・ 南三陸町 4 名（徳島県 2 名、徳島市・美波町 各 1 名）

2, 支援日程

8 月 17 日(水)	12 時 30 分	徳島県庁出発
18 日(木)	6 時 30 分	旅館「とちぎ」到着
	7 時 30 分	石巻市内(石巻市役所周辺)の状況視察
	11 時	石巻市役所到着及び第 22 陣より引き継ぎ
	12 時 45 分	二次災害が予想される家屋等の解体撤去工事の契約業務
19 日(金)		同上
20 日(土)		宮城県内(女川町等)の被害状況視察
21 日(日)	8 時 30 分	二次災害が予想される家屋等の解体撤去工事の契約業務
	11 時	宮城県内(南三陸町等)の被害状況視察
22 日(月)		二次災害が予想される家屋等の解体撤去工事の契約業務
23 日(火)		同上
24 日(水)		同上
25 日(木)	8 時 30 分	同上
	11 時	第 24 陣へ引き継ぎ
	16 時	旅館「とちぎ」出発
26 日(金)	9 時	徳島県庁到着

3, 業務内容について

- ・ 家屋等の解体撤去工事に伴う提出書類のチェック
- ・ 提出書類に不備があった場合、施工業者への連絡及び確認

4, 石巻市（石巻市役所周辺）の現状

石巻市は宮城県内でも太平洋側に位置しており、石巻漁港があるなど港町としても盛んだったようです。しかし、太平洋に面していたので津波による被害は大きく、石巻市全体の瓦礫の割合が宮城県全体の 4 割を占めていると聞きました。また、石巻市役所周辺でも

地震による地盤沈下や浸水などによる被害を受けており、商店街の殆どの店舗ではシャッターが降ろされているという状況でしたが、幾つかの飲食店は営業していました。また、徒歩数分に場所にコインランドリーもあるなど、衣食住については不自由しませんでした。しかし、信号が復旧していない交差点も多く、交通整備員が交通整理を行っている所とそうでない所があり、夜間などは信号の有無を確認出来ないので細心の注意を払わなければなりませんでした。

半年経った現在でも沿岸部においては車で通れる道は少なく、瓦礫や冠水で通行出来ない箇所も多々ありました。また、家屋等の瓦礫の撤去もある程度は進んでいましたが、被災した木造・鉄骨造住宅は被災当初のままの建物も少なくなく、復興にはまだまだ時間がかかるように見受けられました。

5、石巻市役所での支援作業について

石巻市役所では災害廃棄物対策課に県庁職員 2 名、吉野川市職員 2 名が配備されました。この課は今年の 5 月頃に設置され、吉野川市の支援作業も 7 月末までは貸付金の受付を行っていましたが、8 月より災害廃棄物対策課に配属されました。業務内容としては被災した家屋等の撤去工事における所有者・施行業者・石巻市の三者契約に必要な書類のチェックを行っていました。最初は書類のチェックだけで不備があれば石巻市の臨時職員の方が連絡し、新しい書類を提出してもらうという流れでしたが、人手が足りないという事と効率性を考慮してチェックした者が業者に連絡するようになりました。災害廃棄物対策課自体が新しいという事もあり、業務においては手探りの状態でした。そのため、私の支援開始当初は約 1,300 件ある撤去工事の内、60 件ほどしか工事費の支払が出来ておらず、施工業者も経済的に苦しいといった状況でした。

6、支援作業における感想

震災から半年経った現在では石巻市の行政も機能してきていますが、業務量は以前よりも増加してきており、全体的に人員不足は否めないという印象を受けました。また、課内の職員の中には家族を亡くされた方もおり、中には亡くなった方の遺体を運んでいたという方もいると聞きました。そのため、日数が経つにつれて支援活動の内容や目的も変化させていかなければならないと感じました。まず、最初の頃は住民の事を第 1 に考えた支援活動を行うことが重要であると思います。しかし、課内では既に 2 名の方が病休をとっているという状況で、他の職員もそのような状態になる可能性は十分に考えられます。そのため、石巻市職員も被災者であるので職員に対しての業務面でのサポートはもちろんの事、精神的・肉体的なサポートに今後は重点を置く必要があると思いました。

また、同じ作業を支援者 4 人で行っていたので持ちこたえきれない時間があり、10 日間という短い支援期間を有効に活用する為にどのようにサポートしていくかを考える必要があったと思いました。

7, 現地の状況



石巻市役所



石巻市役所 北上支所 (入口)



石巻市立病院



石巻市立病院 (西側駐車場)



石巻市雄勝公民館



雄勝硯(すずり)伝統産業会館



女川魚市場



交番(女川魚市場付近)



女川市立病院（南側）



女川市立病院（南側）



南三陸町役場付近



南三陸町役場付近